

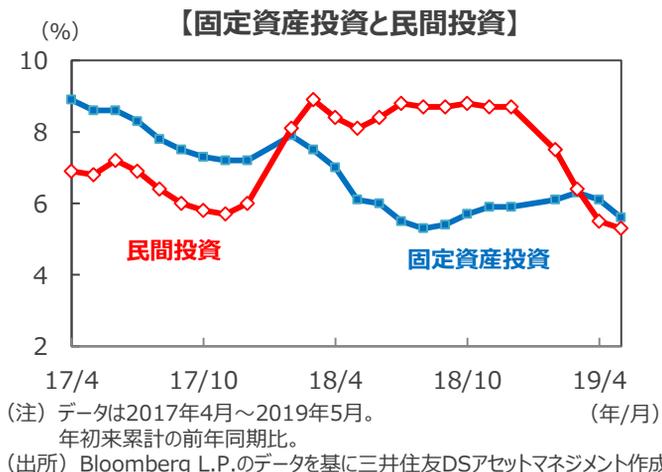


今日のトピック 一段と減速した中国経済（2019年6月）

生産、投資が下振れ、引き続き米中協議に注目

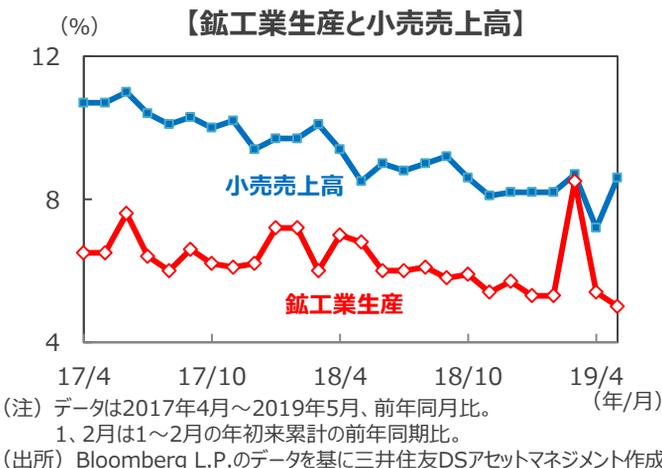
ポイント1 固定資産投資は大きく減速 民間投資の伸びが鈍化

- 中国国家统计局は14日、主要経済指標を発表しました。1～5月の固定資産投資は前年同期比+5.6%と市場予想の同+6.1%を下回り、1～4月（同+6.1%）から大きく減速しました。
- 固定資産投資の内訳をみると、約6割を占める民間投資が同+5.3%と、1～4月（同+5.5%）から伸びが鈍化しました。米中貿易摩擦の激化が民間企業の投資意欲を抑制しているとみられます。



ポイント2 鉱工業生産も鈍化 小売売上高は前月から大きく反発

- 5月の鉱工業生産は前年同月比+5.0%と市場予想の同+5.4%を下回り、4月（同+5.4%）から伸び率が縮小しました。製造業の景況感が悪化するなか、特に自動車生産が同▲21.5%と、大きく落ち込みました。
- 5月の小売売上高は前年同月比+8.6%と、市場予想の+8.1%を上回り、4月（同+7.2%）から反発しました。4月に大きく落ち込んだ反動が出たものとみられます。



今後の展開 中国政府は財政政策を拡大、米中協議の進展に期待

- 5月の主要経済指標をみると、米中貿易摩擦の緊張が高まり景況感が悪化したことを反映し、生産や投資が下振れました。米中間で何らかの合意に至るまでは景況感は大きく改善しない可能性があります。
- 中国政府は景気下振れリスクを認識しており、インフラ投資を中心に景気対策を従来より加速させる準備を進めているとみられます。財政政策によって経済成長率を少なくとも6%近辺にとどめるだけの財源は十分にあると考えられます。引き続き、米中首脳会談の実現などを通して両国が歩み寄り、米中協議が進展することが期待されます。

ここも
チェック!

2019年6月14日 運用者の視点：注目される中国『A株』市場
2019年6月11日 『5G』開発、中国で加速。米中の競争激化

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。